

令和4年10月5日
中部地方整備局港湾空港部
愛知県

伊勢湾・三河湾の将来をみんなで考えるシンポジウムを開催！ ～水産資源の回復・生物生息場の環境醸成について議論～

伊勢湾・三河湾は外海との海水交換がされにくい閉鎖性海域であり、水質汚濁が赤潮等の発生要因として生物の生育・生息環境に影響を及ぼしています。一方、近年は、海苔の色落ちや漁獲量の減少が生じており、生物の生息に必要な栄養の不足や干潟等の生息場の減少が課題となっています。

中部地方整備局では「伊勢湾及び三河湾とその流域の環境改善」のための伊勢湾再生行動計画を策定し、これを推進するとともに定期的にフォローアップを進めています。

今回、行動計画の基本方針でもある「多様な生態系の回復」に焦点をあて、伊勢湾・三河湾における水産資源の回復に向けた栄養管理と生物生息場の環境について、参加者皆さんで考えるシンポジウムを開催します。

また、伊勢湾シミュレーターによる生物資源に関する予測結果やブルーカーボンのオフセットに向けた取り組み等について報告いたします。

記

- 日時・会場：令和4年10月25日（火） 14:00～17:00 （13:30受付開始）
名古屋市ウインクあいち 5階小ホール1
※オンライン（zoomミーティングによるWeb方式）による一般参加が可能

- 内容：詳細は別紙参照

■取材

- ・取材いただける報道機関の方は、「取材登録」をご参照いただき、10月18日（火）17時までに電子メールにてお申し込みください。
- ・当日は、13時30分～13時50分までに会場ロビーにお集まりください。
- ・カメラ等による撮影は可能です。なお、取材の際は、報道機関名が確認できる取材者証（腕章）等の着用をお願いいたします。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当日のご参加は各社最大3名までとし、マスク着用を徹底いただくようお願いいたします。

■配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、豊橋市政記者会、三重県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、津市政記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

■問い合わせ先

(シンポジウムの内容について)

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課
課長 宇野 健司 (うの けんじ)
係長 梅田 至人 (うめだ のりひと)
電話 052-209-6329 (ダイヤルイン)
メール umeda-n852a@mlit.go.jp

(愛知県の水産業について)

愛知県 農業水産局 水産課 企画・環境グループ
課長補佐 原 保 (はら たもつ)
課長補佐 松村 貴晴 (まつむら たかはる)
電話 052-954-6458 (ダイヤルイン)

取材登録

※取材をご希望の場合は、事前に以下の記載事項を電子メールにて送付いただくようお願いいたします(メール本文に直接入力し、送付いただく形で問題ございません。)

【記載事項】

1. 報道機関名
2. 取材者(複数名の場合は代表者)
 - ①ご氏名
 - ②ご役職
 - ③取材人数
3. 連絡先
 - ①電話番号
 - ②当日に連絡可能な携帯電話番号(3. ①と同じ場合は不要)

送信先:umeda-n852a@mlit.go.jp

※件名を「取材申込」としてください。
申込締切:令和4年10月18日(火) 17:00

伊勢湾・三河湾の水産資源に必要な 栄養や生息場について考える シンポジウム

オンライン参加
申込用

近年、伊勢湾、三河湾では、海苔の色落ちや漁獲量の減少が生じており、生物に必要な栄養の不足や干潟等の生息場の減少が課題となっています。これらの課題を解決するためには、各組織の枠組みを超えた伊勢湾再生推進体制による相互取り組みが重要となります。

今回のシンポジウムでは、水産資源の回復に向けた栄養塩の在り方や生物生息場の環境について、学識者・行政・漁業者等と議論を交わし、近い将来の伊勢湾・三河湾について考えます。

日時

令和4年 **10月25日(火)**
14:00~17:00
(配信開始 13:30)

申し込み

オンライン(zoom)での参加をご希望の方は、
①氏名(ふりがな)
②ご所属
③メールアドレス をご記入のうえ、
下記のアドレス宛に送信してください。

r4isewan-sympo@ideacon.co.jp

なお、オンライン参加は先着順で100名までとさせていただきます。あらかじめご了承ください。

プログラム

主催者・来賓挨拶

基調講演 (30分)

「伊勢湾シミュレーターによる生物資源量の 予測結果について」

名城大学大学院総合学術研究科 特任教授 **中田 喜三郎**

話題提供 (40分)

「ブルーカーボン生態系とJブルークレジットの取り組みについて」

ジャパンブルーエコノミー技術研究組合 理事長 **桑江 朝比呂**

「海域の基礎生産力の変化による水産資源と生態系の応答について」

愛知県水産試験場 主任研究員 **曾根 亮太**

パネルディスカッション (80分)

コーディネーター:	中田 喜三郎	名城大学大学院総合学術研究科	特任教授
パネリスト	: 鈴木 輝明	名城大学大学院総合学術研究科	特任教授
	青木 伸一	大阪大学大学院工学研究科	教授
	桑江 朝比呂	ジャパンブルーエコノミー技術研究組合	理事長
	蒲原 聡	愛知県水産試験場	場長

参加費
無料

先着
100名

◇お問い合わせ先 中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 宇野・梅田 TEL.052-209-6329

主催:国土交通省中部地方整備局・愛知県